２０２５年度　事業報告書

２０２５年４月　１日から

２０２６年３月３１日まで

学 校 法 人 椋 橋 学 園

１．法人の概要

名　称　　学校法人　椋橋学園（昭和５６年７月２５日法人設立）
代表者　　理事長　川辺　浩之
住　所　　豊中市庄本町１丁目２番４号
電　話　　０６－６３３２－３１１０
ＦＡＸ　　０６－６３３２－３２０７
設置する学校
　住　所　豊中市庄本町１丁目２番４号
　名　称　庄本幼稚園
役　員　　理事　６名　・　監事　２名
評議員　　８名
理事会　　３回開催
評議員会　３回開催
職　員　　２１名

２．事業の概要

（　庄本幼稚園　）

≪教育方針≫

“幼稚園は学校です”のスローガンの元、スムーズな小学校進学へのサポートを保育目標として掲げる。また、神社境内地で緑いっぱいの環境の中で集団生活を行うことにより、基本的な生活習慣を身につけ、思いやりのある、元気で素直な子どもを育てる。

≪教育内容≫

子ども達の可能性を求めて、ＥＣＣ英会話レッスン、スイミング教室、ヒップホップダンスなどを正課とし、勉強・音楽・運動をバランスよく保育に採り入れている。少人数の園ならではの目の行き届いた教育・指導を行い、異年齢間の遊びや行事により、集団生活のルールと思いやりの心を育てる。

≪園児数≫

	３歳児		４歳児		５歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定　員	1	25	1	35	1	35	3	95
2024年度	1	25	1	16	1	21	3	62
2025年度	1	21	1	23	1	16	3	60
2026年度	1	13	1	21	1	22	3	56

≪保育時間≫

月～金曜日　　午前９時～午後３時

≪納付金等毎月の費用≫

保育料　　年額３０８，４００円（１２分割均等納付）
（月額　２５，７００円 幼児教育無償化により保護者負担なし）
消耗用品代　　月額１，５００円（絵本代含む）
暖房費　　年額２，０００円（１２月にまとめて納入）
プール代　　１回８００円×週１回×３～４週／月
バス遠足代　　１回７００～１，０００円程度（年２回）
給食費　　１食３５０円×週５回×３～４週／月
スクールバス　　月額２，６００円（片道１，３００円）
保護者会費　　月額１，０００円

≪入園時の費用≫

入園料　　６０，０００円
施設設備費　　１０，０００円

≪預かり保育の内容及び費用≫

８時から 19 時までの 11 時間開園で、保育園並みの預かり保育を実施し、
“働いていても幼稚園”のスローガンの元、就労する保護者を支える。

平日　午前８時００分～保育開始時・保育終了時～午後７時
午前８時００分～保育開始時　　２００円／回
保育終了時～午後５時　　４００円／回（月極め　６，４００円）
保育終了時～午後６時　　６００円／回（月極め　９，０００円）
保育終了時～午後７時　　８００円／回（月極め１２，０００円）

土曜日･園が定めた休園日･春休み･冬休み(年末年始除く)　午前８時～午後７時
午前８時００分～午前８時３０分　２００円／回
午前８時３０分～正午　　６００円／回
午前８時３０分～午後３時　　１，１００円／回
午前８時３０分～午後５時　　１，５００円／回
午前８時３０分～午後６時　　１，７００円／回
午前８時３０分～午後７時　　１，９００円／回

夏休み平日　午前８時００分～午後７時(お盆を除く)　午前８時～午後７時
午前８時００分～午前８時３０分　２００円／回
午前８時３０分～正午　　３００円／回
（午前中のみ月極め　７月１，０００円、８月２，０００円）
正午～午後３時　　３００円／回

正午～午後５時　　６００円／回
午前８時３０分～午後３時　　１，１００円／回
午前８時３０分～午後５時　　１，５００円／回
午前８時３０分～午後６時　　１，７００円／回
午前８時３０分～午後７時　　１，９００円／回

≪主な行事≫
春の親子遠足、お誕生日会、サマーフェスタ、個人懇談、保育参観、七夕まつり、一泊保育、大運動会、秋の遠足、おもちつき、クリスマス会、作品展、なわとび大会、カルタ大会、おゆうぎ会、ひなまつり等

≪未就園児事業実施状況≫
二歳児クラス（満二歳より入会のプレ幼稚園クラス）
毎日コースと週二日、週三日コースの選択
保育所と同じ保育士配置構成

≪施設関係≫
園地面積　１，２３１㎡　　運動場面積　５１３㎡

≪設備関係≫

≪事業報告≫
厚生労働省発表の 2025 年の日本人の人口動態統計によると昨年国内で生まれた子ども（出生数）は 67 万 1236 人で、統計以降最少を 10 年連続で更新。１人の女性が生涯に産む見込みの人数を示す合計特殊出生率も 1.14 と過去最低だった。国立社会保障・人口問題研究所の将来推計より１５年ほど速く少子化が進んでいる。
豊中市においても豊私幼加盟園 41 園の園児数は、昨年(2025 年)比で約 350 名減少している。これは大規模園が一つ消滅したに等しい減少ペースであり、比較的子育て人口比率が多い豊中市でさえこの状況である。引き続き園児の確保が経営安定の最大の課題であり、当園も早急に対策を打つ必要がある。
今年度は昨年(令和 6 年/2024 年)とほぼ同じ園児数を確保出来たが、下記のとおり人件費や物価高騰による各種経費増により、昨年度に引き続き教育活動収支でマイナスとなり厳しい財務状況が続いている。そのような中、当園は令和８年度(2026 年度)より幼稚園型認定こども園へ移行する。認定こども園化により、公定価格、運営補助金等での収入増が見込まれるが、引き続き園児の確保の為、環境整備や施設整備に努めたい。

財務状況では、事業活動収支計算書より、教育活動収入計が 56,659 千円(前年度 57,431 千円)、教育活動支出計 59,614 千円（前年度 58,681 千円）、教育活動収支差額▲2,955 千円（前年度▲1,250 千円）、経常収支差額比率▲5.17％（前年度▲2.21％）となっ

た。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、72.47％（前年度 70.63％）となり、前年度より上昇した。翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金（第４号基本金）の額を相当上回る額の支払資金を保持できているので、資金繰りは問題ない。

３．財務状況

別紙参照